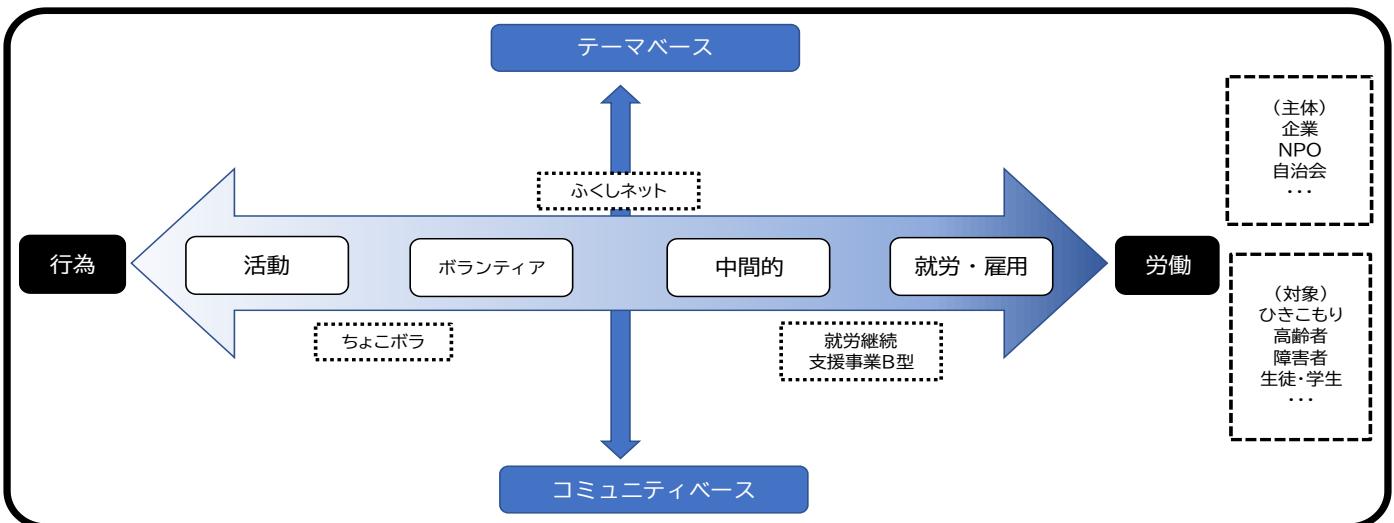


多様なはたらき（仮）について

1. これまでの振り返り（意見や取組の方向性など）

- コロナ禍で地域人材の掘り起こしが停滞し、担い手不足が深刻化している。
- 高齢者でも働き続ける方も多く、地域活動のあり方や、働きながらでも活動できる活動の検討が必要。
- 誰もが役割や出番をもつ活躍できる地域づくりが求められている。きっかけ次第では新たな人材とつながる可能性がある。
- 様々な事情で生きづらさを抱えていたり、社会的に孤立したりしている個人・世帯に対しては、既存の就労やボランティア活動にとどまらない社会参加の機会や場、仕組みが必要である。
- 特に人材の発掘・育成については計画を充実させるために必要である。

⇒従来の「ボランティア」や「地域活動」だけでなく、様々なバリエーションを増やし、就労支援や地域活動の担い手支援となるような事業を検討する。



2. 検討項目案

*担い手の裾野を広げる取組

*就労に限らない「はたらき」の仕組みづくり

